

# PCB廃棄物適正処理推進に関する検討委員会

## JESCOのPCB廃棄物処理施設の解体撤去の 実施状況

令和8年3月26日  
中間貯蔵・環境安全事業株式会社

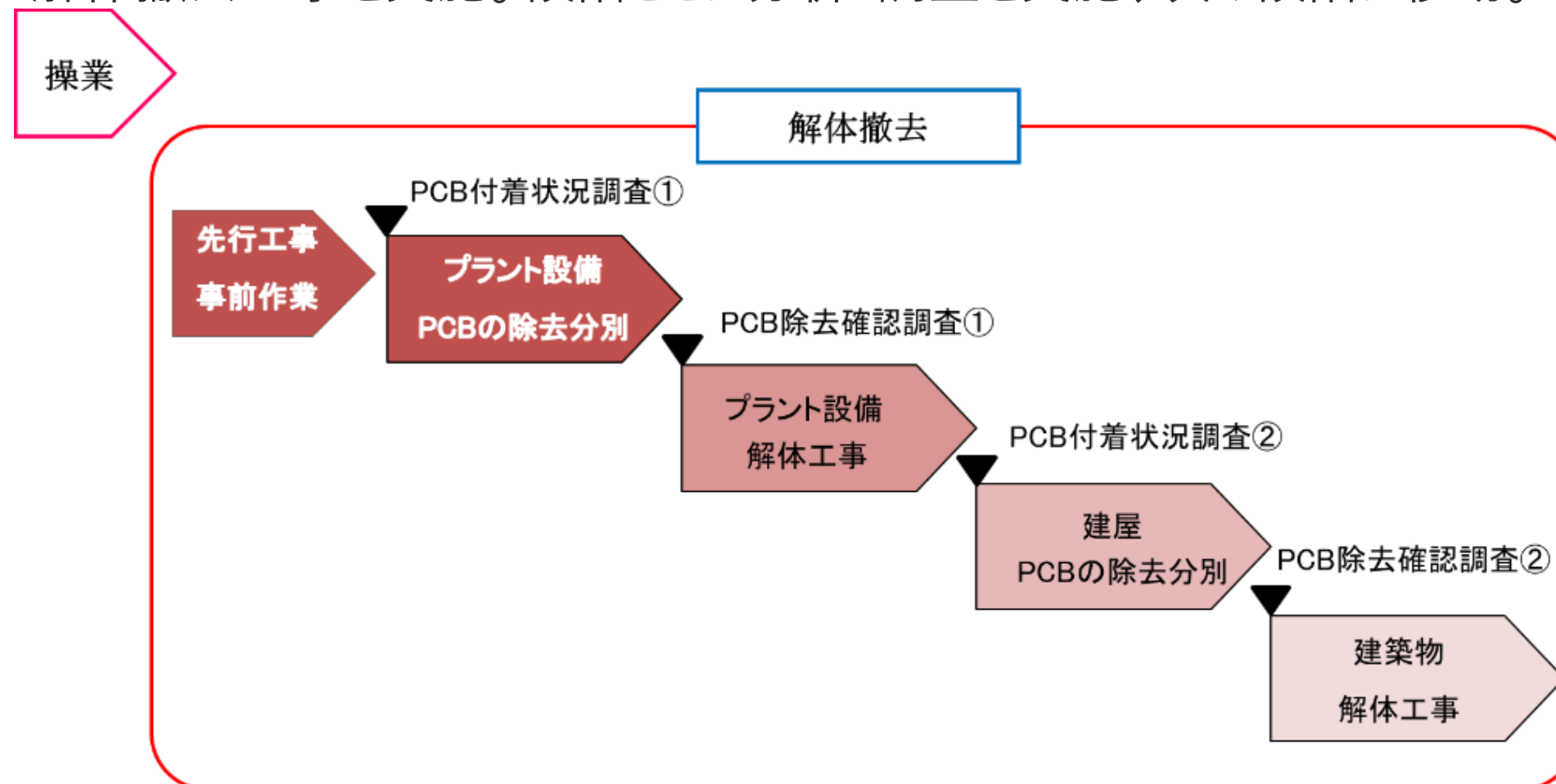
# 【JESCO施設】 基本的な考え方と解体撤去の流れ

## ◆ 基本的な考え方（基本方針）

環境の保全の徹底、工事における万全な安全衛生の確保、ステークホルダー等の理解と信頼の確保のための情報共有・公開

## ◆ 解体撤去の流れ

段階的に解体撤去を実施。先行工事・事前作業、プラント設備や建築物ごとに、PCBの除去分別を実施したのちに解体撤去工事を実施。段階ごとに分析・調査を実施、次の段階に移動。



※先行工事：プラント設備の本格的な解体撤去に先立って実施する工事で、技術実証としての不要設備の解体撤去や高濃度PCB設備の優先的解体等を目的とした先行解体撤去と、その後の解体撤去の準備として行う工事をいう。

※PCB除去分別：プラント設備、機器等に残存あるいは付着している高濃度PCBを洗浄、拭き取り等により取り除く作業。  
建屋の床や壁、天井等に付着しているPCBを、拭き取りや表面の研削、はつり等により取り除く作業。

# 【JESCO施設】 解体撤去の進捗概況

- ◆ 北九州1期施設では、建築物の解体撤去を実施中。
- ◆ 北九州2期施設では、プラント設備のPCBの除去分別及び解体撤去を実施中。
- ◆ 豊田、大阪では、先行工事・事前作業及びプラント設備のPCBの除去分別を実施中。
- ◆ 東京、北海道当初施設では、先行工事・事前作業を実施中。 (令和8年2月末時点)



		北九州		豊田	東京	大阪	北海道	
		1期 (化学処理)	2期 (プラズマ処理)				当初 (化学処理)	増設 (プラズマ処理)
先行工事		完了 R元～3年度	完了 R5～7年度	実施中	実施中	実施中	実施中	計画 R8～9年度
事前作業		完了 R元～3年度	完了 R5～7年度	実施中	実施中	実施中	実施中	未実施 未定
プラント設備	除去分別	完了 R3～4年度	実施中	実施中	計画 R8～9年度	実施中	未実施 R8年度以降	未実施 未定
	解体撤去	完了 R4～6年度	実施中	計画 R8～10年度	計画 R8～11年度	計画 R8～9年度	未実施 R8年度以降	未実施 未定
建築物	除去分別	完了 R6～7年度	計画 R9～11年度	未実施 R9～11年度	未実施 R8～12年度	未実施 R9～11年度	未実施 R8年度以降	未実施 未定
	解体撤去	実施中	計画 R11～12年度	未実施 R11～13年度	未実施 R13～14年度	未実施 R11～12年度	未実施 R8年度以降	未実施 未定

# 【北九州1期】 建屋のPCBの除去分別、建築物の解体撤去

1期施設は、建屋のPCBの除去分別完了後のPCB除去確認調査において、PCBがない状況（該当性判断基準以下）を確認し、建築物の解体撤去に着手した。

## 【1期施設】

- 対象：1期施設の地上部分。地表面の土間、杭等の地下工作物は残置し、将来的に、2期施設の建築物の解体撤去と併せて実施。
- 時期

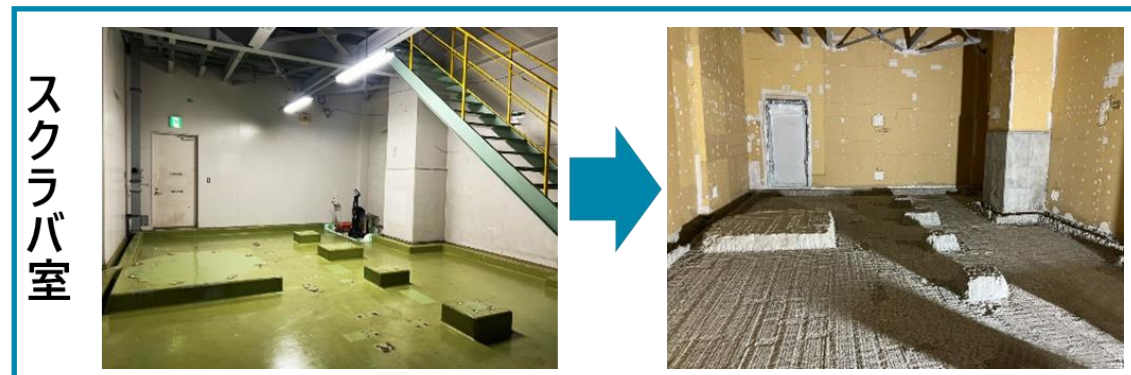
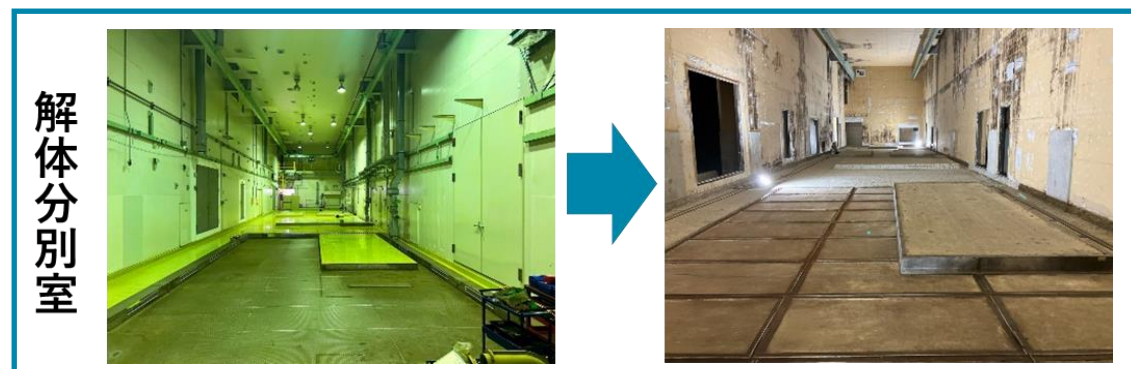
項目		令和6年度	令和7年度	令和8年度
建築物	PCBの除去分別			
	解体撤去			

- PCB除去確認調査（床、壁、天井）の全測定点において、PCBがない状況（該当性判断基準※1以下）を確認。
- 作業環境測定（除去分別対象室内）において、暫定大気環境基準※2以下を確認。

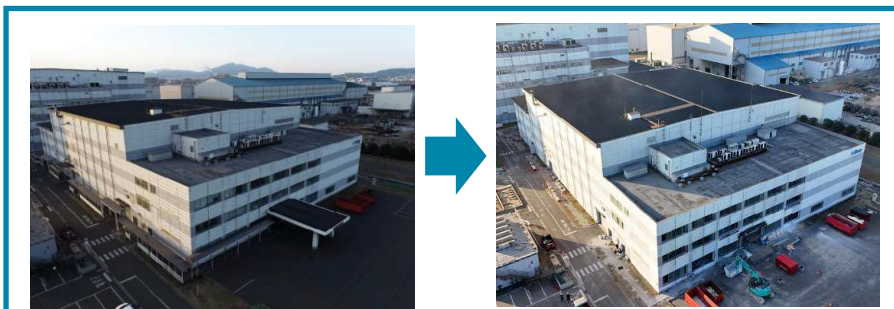
※1 含有量試験：0.5mg/kg、溶出量試験：0.003mg/L、拭き取り試験0.1μg/100cm<sup>2</sup> ※2 0.0005mg/m<sup>3</sup>

# 【北九州1期】 建屋のPCBの除去分別、建築物の解体撤去

建屋のPCBの除去分別を完了した。



仮設・準備工事を行い、外周付属品を撤去した。



# 【北九州2期】 事前作業、プラント設備のPCBの除去分別 プラント設備の解体撤去

2期施設は、液抜き・洗浄、配管等のPCBの除去分別を実施している。プラント設備の解体撤去に着手し、工事事務所等の仮設工事を完了した。

## 【2期施設】

- 対象：受入保管・払出設備、中間処理・溶剤蒸留設備、液処理設備、TCB分離・減圧蒸留設備、プラズマ付帯設備、スクラバー設備  
(約1,100t)



受入保管設備



プラズマ付帯設備



TCB分離・減圧蒸留設備



払出設備

## ■ 時期

項目	令和7年度	令和8年度
プラント設備の解体撤去		

# 【大阪】 先行工事

VTR設備D号機及び受水槽室タンク類、蒸留設備、中間処理設備の解体撤去を実施。排気中のPCB濃度は、管理目標値以下で、通常の操業時と比べても変わっていない。

## ■ 対象・時期

設備	工期	重量 (ton)
VTR設備D号機	令和7年4月～7月	23
受水槽室タンク類	令和7年6月～8月	8
蒸留設備	令和7年7月～12月	38
中間処理設備	令和7年7月～令和8年3月	77

■ 管理レベル：レベルII（低濃度付着レベル、作業環境濃度 $10\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下）

■ PCB排気： $0.0000049\sim 0.0000086\text{ mg}/\text{m}^3\text{N}$ （自主管理目標値 $0.01\text{ mg}/\text{m}^3\text{N}$ ）  
（参考）操業時のPCB排気  $0.0000015\sim 0.000052\text{ mg}/\text{m}^3$ （H29～R2年）

■ PCB作業環境：計量下限値( $0.5\ \mu\text{g}/\text{m}^3$ 未満)（作業環境管理濃度 $10\mu\text{g}/\text{m}^3$ ）

# 【大阪】 先行工事

エリア内の様々な設備を撤去した。

VTR設備D号機



受水槽室タンク類



蒸留設備



中間処理設備



# 【豊田】 先行工事

高濃度PCB取扱エリア等の解体撤去に着手し、工事事務所等の仮設工事を完了した。

## ■ 対象

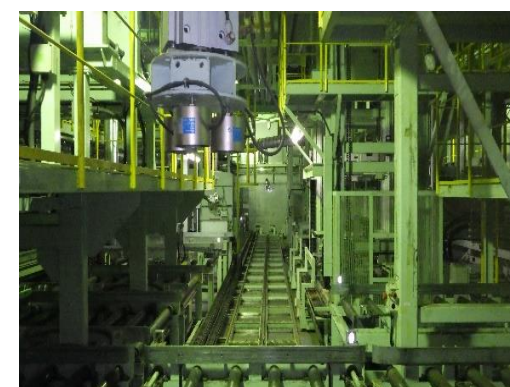
大型/車載トランス解体エリア、小型トランス解体エリア、特殊コンデンサー解体エリア、裁断破碎エリア等（約723t）



大型トランス粗解体装置



特殊コンデンサ解体ライン



裁断破碎エリア

## ■ 時期

項目	令和7年度	令和8年度	令和9年度
高濃度PCB取扱エリア等		■	

# 【東京】 先行工事

リン含有PCB油前処理設備及び廃粉末活性炭スラリー化設備、安定器等処理設備の解体撤去を実施、現在、コンデンサ解体設備等の解体撤去を実施している。排気中のPCB濃度は、管理目標値以下で、通常の操業時と比べても変わっていない。

## ■ 対象・時期

設備	工期	重量 (ton)
リン含有PCB油前処理設備	令和5年12月～令和6年3月	77
廃粉末活性炭スラリー化設備	令和7年2月～4月	22
安定器等処理設備	令和7年6月～令和8年1月	199
コンデンサ解体設備等	令和7年12月～令和8年9月	314

- 管理レベル：レベルII（低濃度付着レベル、作業環境濃度 $10\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下）
- PCB排気：計量下限値（0.0005未満）～ $0.0006\text{mg}/\text{m}^3\text{N}$ （管理目標値 $0.01\text{mg}/\text{m}^3\text{N}$ ）  
（参考）操業時のPCB排気 計量下限値（0.0005未満）～ $0.0007\text{mg}/\text{m}^3$ （R5年）
- PCB作業環境： $0.2\sim 8.5\mu\text{g}/\text{m}^3$ （作業環境管理濃度 $10\mu\text{g}/\text{m}^3$ ）

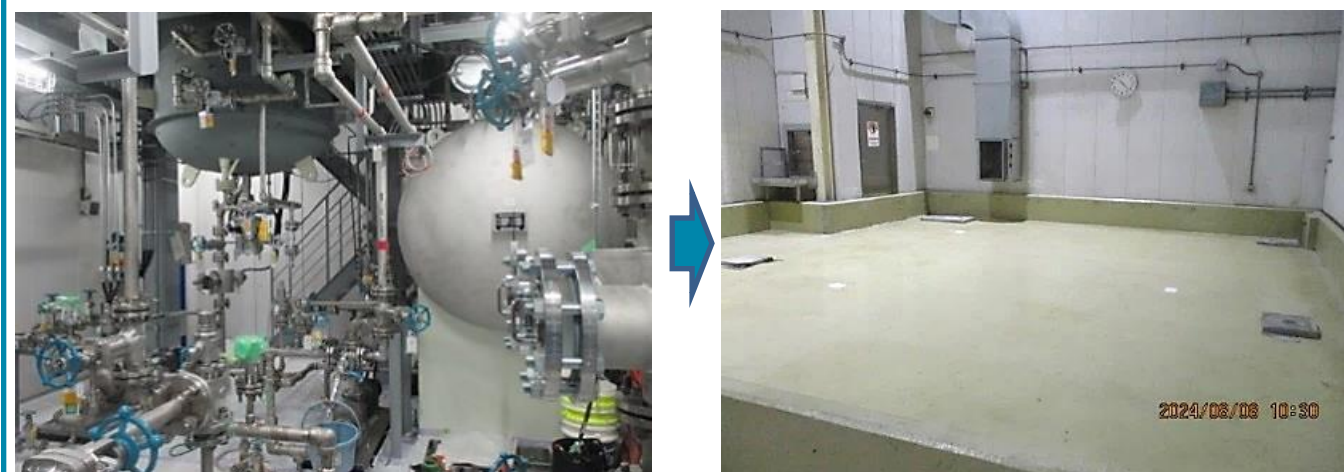
# 【東京】 先行工事

エリア内の様々な設備を撤去した。

リン含有PCB油前処理設備



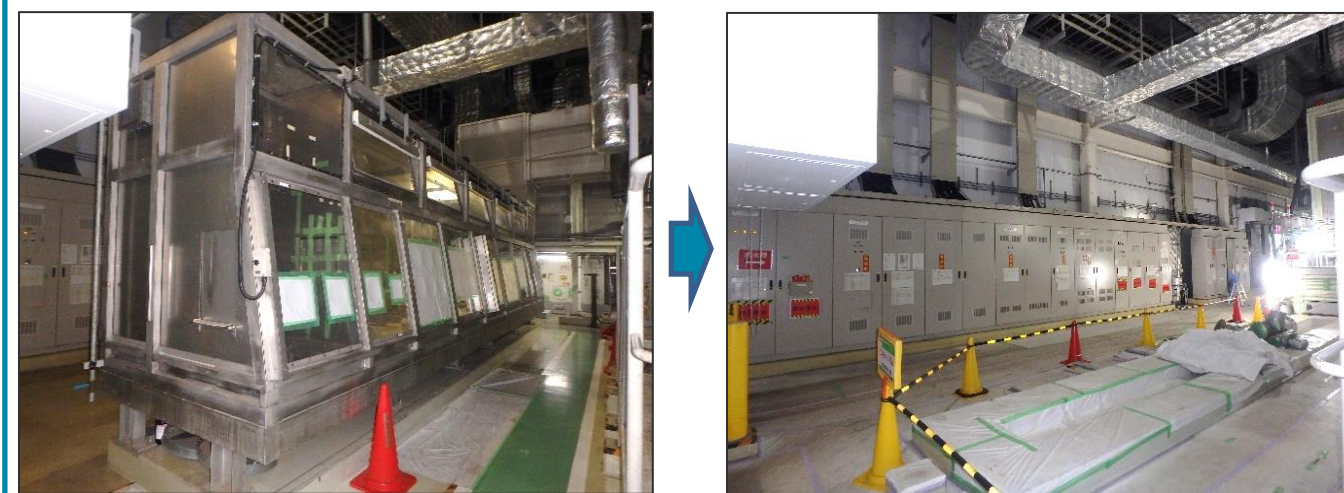
廃粉末活性炭スラリー化設備



安定器等処理設備



コンデンサ解体設備等



# 【北海道】 先行工事

コンデンサー解体設備の解体撤去工事を完了した。管理レベルIIIとして、解体撤去マニュアルに定める高濃度PCB付着レベルでの保護具の着用等の対策を実施した。排気中のPCB濃度は、管理目標値以下で、通常の作業時と比べても変わらなかった。

## ■ 対象・時期

設備	工期	重量 (ton)
コンデンサー解体設備	令和7年2月～7月	30

- 管理レベル：レベルIII（高濃度付着レベル、作業環境濃度 $10\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以上）
- PCB排気： $0.00000029\sim 0.00000020\text{mg}/\text{m}^3\text{N}$ （管理目標値 $0.01\text{mg}/\text{m}^3\text{N}$ ）  
（参考）作業時のPCB排気 $0.00000010\sim 0.00000058\text{mg}/\text{m}^3$ （H31～R7年）
- PCB作業環境： $9\sim 16\mu\text{g}/\text{m}^3$ （作業環境管理濃度 $10\mu\text{g}/\text{m}^3$ ）

※解体着手基準を上回り、かつ、作業環境管理濃度も $10\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以上であるため、解体撤去マニュアルに基づき管理レベルIIIとした

# 【北海道】 先行工事

エリア内の様々な設備を撤去した。



コンデンサー解体設備

